

10月4日(水) 15:45から4年生授業研究の指導案検討を行いました。

令和5年10月24日(火) 第4学年

主題名 よりよい友達関係

内容項目 B9「友情・信頼」

教材名 「大きな絵はがき」 **出典** 東京書籍



【授業者より】

- ・指導要領では、1・2年生は「仲良くし、助け合う」、3・4年生では「信頼し理解し助け合う」をねらっている。
- ・「あなたがひろ子ならどうしますか？」として考えを交流し、互いの立場で質問し合いたい。

【協議】

<導入>

- ・導入における事前アンケートで、友だち関係で難しいな(嫌われたくない、気をつかうなど)と感じることがあるなどの本音を出すことができれば、めあてにつながっていく。

<資料提示>

- ・料金不足の意味が分かるか?郵便の仕組みを押さえておく必要がある。

<基本発問>

- ・はがきをもらったときの気持ち(遠くに離れてまでもつながってる二人の友情, 仲の良さ)を考えさせておくと、「伝える」「伝えない」両方の気持ちが出やすい。友だちだから伝える, 友だちだから伝えたくない。
- ・言うか言わないかよりも、なぜこのようなことをするかが大切。

<中心発問>

- ・基本発問「あなたがひろ子ならどうしますか?」から中心発問「それでもひろ子が料金不足を伝えようとした思い」で、伝えることの良さ(言いにくいことをあえて伝える良さ)を深化させることができるか心配。
- そのための補助発問や切り返しとして、「なんで迷ったの?最初から言えば良かったじゃん。」「自分が反対の立場だったら言ってほしい?どうして?」「でも、言わなくてもいいことだよ。言わなくてもいいことをあえて言う良さは?」など。

<まとめ>

- ・教材にはないが、「この話には続きがあってね…」という形で、正子から手紙(素敵な友だちがいて良かったねとお母さんに言われた)が返ってきたことを紹介し、本当の友だちについて考えさせる方法もある。

<ふりかえり>

- ・「信頼し合う」という言葉は出てくると思うが、信頼し合う良さを感じ取らせるのは難しい。生活とどう結びつけていくかも難しい。
- ・「この二人の関係どう思う?」「このような(間違っただけをしても受け止めてくれる, きっと分かってくれると思えるような信頼し合える)友だちってあなたはいますか?」と問い, このような関係をつくれたらいいなといった信頼し合えることの良さに気付けるようにする。
- ・正論で言ってしまうと、自分が入り込めない。何かそこに気付いていけるような授業になるとよい。